

株式会社セブン・イレブン・ジャパン  
株式会社セブン・カードサービス  
2017年8月14日

## セブン・イレブン・ジャパンとセブン・カードサービス セカンドハーベスト・ジャパンへの支援を開始

株式会社セブン・イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋 一樹、以下：セブン・イレブン）と株式会社セブン・カードサービス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：水落 辰也、以下：セブン・カードサービス）は、セカンドハーベスト・ジャパン（本部：東京都台東区、CEO：マクジルトン・チャールズ、以下：2HJ）が行うフードバンク活動に賛同し、2017年8月より2HJへの支援を開始いたします。

本取り組みは、セブン・イレブン店舗での改装時等に発生する在庫商品の一部を2HJへ提供し、2HJの活動に役立てるものです。食料品については2HJを通して、生活困窮者へと提供されます。

また、提供する雑貨商品は、今回初めて2HJよりボランティア、スタッフ、支援先等へ販売されます。売上金は2HJの社会貢献活動の運営資金として活用され、東京2020:10万人プロジェクトを支援します。

また、雑貨商品のボランティア他への販売時に使用する電子マネー端末の設置費用は、セブン・カードサービスが負担いたします。

セブン・イレブン・ジャパンとセブン・カードサービスは、今後も、本取り組みを含む様々な社会課題の解決に向けた取り組みを支援し、本業を通じた社会貢献を推進してまいります。

### 【セブン&アイ2社の支援内容】

#### ■セブン・イレブン・ジャパン

店舗の改装時に発生する在庫商品の一部（食料品や雑貨商品）を、2HJへ提供

#### ■セブン・カードサービス

2HJが、ボランティアへの雑貨商品販売の際に使用する電子マネー決済端末の設置費用を負担

※今後、ボランティア他向けにオリジナルnanacoカードを作成し、配布する予定です。

### セカンドハーベスト・ジャパンとは

日本で初めてフードバンク活動を始めたNPO法人。フードバンク活動とは、食品衛生上の問題はないが、包装の破損や賞味期限が迫っている、季節商品である、などの理由から食品企業や量販店、輸入業者、卸業者、農家などが市場に流通できない食品を、食料を必要としている福祉施設や貧困者に配分する活動です。

フードバンク活動は1967年に米国アリゾナ州で始まった活動で、日本ではセカンドハーベスト・ジャパンが初のフードバンク団体として2002年に法人化。東日本大震災でも被災地に食料などの支援物資を運搬しており、合計発送回数は184回、食品パッケージの発送数は13,060個（2012年12月31日時点）と多くの支援活動を行っています。

セカンドハーベスト・ジャパンは現在、東京2020:10万人プロジェクトとして、東京都内だけで1年間に10万人に対して生活を支えるのに十分な食べ物を渡すことを目標としており、食品の受け渡し拠点の拡充等に取り組んでいます。

